

漁況予報 い わ し

第188号

【2015年3～4月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、1月は小田原以西の西湘地区を中心に来遊があり、220トンと前年(108トン)及び平年^{*1}(69トン)を大きく上回りました。2月は18トン(速報値)で、前年(25トン)及び平年(35トン)を下回りました。

まき網は、東京湾側でも相模湾側でも水揚げはありませんでした。

魚体は、2ヶ月とも被鱗体長^{*2}(以下同)13-15cmの2014年生まれの1歳魚主体でした。

【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、相模湾東部海域を中心に1月は164トンで、好漁の前年(306トン)及び平年(241トン)を下回りました。2月は333トン(速報値)で、好漁の前年(676トン)を下回り平年(355トン)並となりました。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして断続的に漁獲し、佐島地区(1ヶ統)では計180トンの水揚げがありました。

魚体は、1月は12-14cmの大型成魚主体、2月下旬には9-10cmの小型成魚主体となりました。

【シラス】

前号でお知らせしたとおり、当所ではしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年もシラスの禁漁期間中(1月1日から3月10日)に、相模湾内で試験操業を実施しました。1月は全般に前年同期以上の反応があり、特に茅ヶ崎地先ではカタクチシラス主体(全長30mm前半)の反応が広範囲に出現しました。しかし、2月、3月の調査では採集水準は落ちていき、前年調査では少量ながら採集できた、春シラス漁に繋がる全長15mmから20mm前半の新仔を殆ど採集することができず、本格的な来遊はまだまだといった感じでした。

また、昨年同様、水温が12-13℃台と低いことも影響していると考えられます。

これらのことから、漁期入りは4月と思われます。

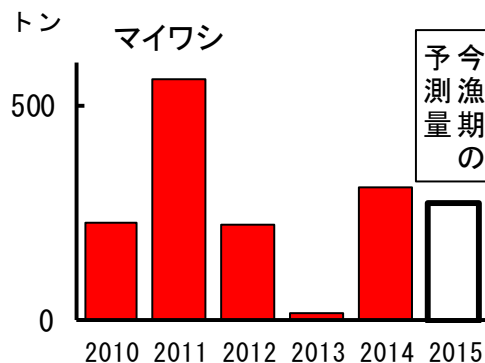
= 予 報 =

過去5年の3・4月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

【マイワシ】

今漁期は、2014年生まれのヒラゴ～小羽マイワシ（12～15cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、太平洋系群の資源量から、前年並の約272トンと予測されます。

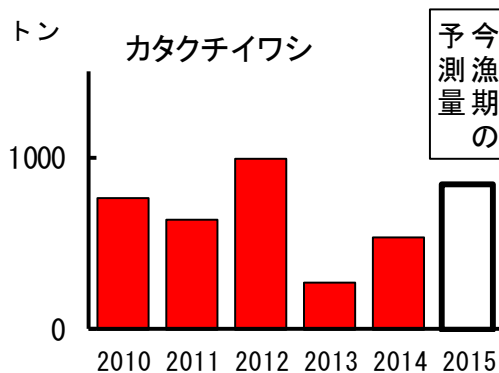


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、引き続き2014年生まれの未成魚～小型成魚（8～12cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網の漁獲量から、前年を上回る約842トンと予測されます。

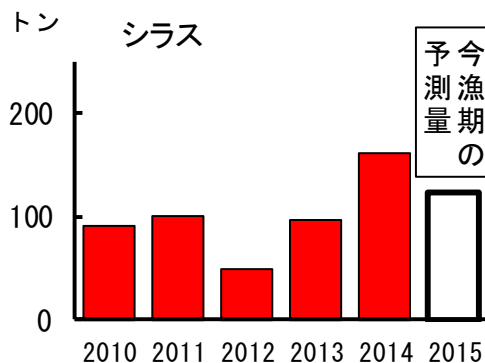


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

今漁期は、2月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲主体にマシラスが若干混じるでしょう。

今漁期の漁獲量は、昨年をやや下回る約124トンと予測されますが、概況でも書きましたように水温が低めで推移していますので、漁期入りは4月に入ってからになるでしょう。



神奈川県水産技術センター企画資源部
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2312